



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 エスケー化研株式会社
コード番号 4628 URL <http://www.sk-kaken.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 實
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長代理 (氏名) 竹内 正博

TEL 072-621-7720

四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	22,347	1.4	3,118	19.5	1,270	△58.5	833	△59.2
28年3月期第1四半期	22,043	2.9	2,610	△8.6	3,063	11.6	2,041	16.2

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 134百万円 (△92.9%) 28年3月期第1四半期 1,897百万円 (34.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	61.70	—
28年3月期第1四半期	149.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	108,288	88,859	82.1	6,577.80
28年3月期	110,737	89,630	80.9	6,633.31

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 88,859百万円 28年3月期 89,630百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	65.00	65.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	47,500	6.1	6,200	13.8	6,300	20.6	4,280	22.7
通期	100,000	8.0	13,000	8.9	13,300	22.9	9,040	26.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	15,673,885 株	28年3月期	15,673,885 株
29年3月期1Q	2,164,815 株	28年3月期	2,161,715 株
29年3月期1Q	13,511,395 株	28年3月期1Q	13,695,581 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(2) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府および日銀による財政・金融政策を背景にして、大企業を中心とした企業収益や雇用情勢に改善傾向が見られるものの、反面、マイナス金利の導入、円高の進行、株価の下落等により、個人消費の低迷も見られるなど、依然として厳しい経営環境が継続しております。

一方、中国をはじめとするアジア新興国経済の減速による生産・輸出の伸びの鈍化や、経済の不確実性の高まりや、金融資本市場の変動による影響等のリスクも存在しており、景気の先行きについては非常に厳しい情勢にあります。

建築塗料業界におきましては、公共投資、耐震改修促進法による公共・民間建物の改修需要の拡大、首都圏を中心とした大規模再開発が予想されておりますが、一方、建築現場の労務者不足による工事の遅れ、需給バランスの崩れ、建築費・人件費の高騰等、厳しい市場環境が続いております。

このような状況下、当社グループは、引き続き、新築市場だけでなく膨大な住宅ストックを抱えるリニューアル市場において、当社の技術革新による製品、超耐久・超低汚染塗料、環境問題に対応した省エネタイプの遮熱塗料等の各種機能性塗料、新型省力化建材、オリジナルの高意匠性塗料や耐火被覆・断熱材等の拡販に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績といたしましては、売上高は、223億47百万円（前年同四半期比1.4%増）となりました。利益面におきましては、営業利益が、31億18百万円（同19.5%増）、経常利益は、為替変動の影響等により、12億70百万円（同58.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、8億33百万円（同59.2%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①建築仕上塗料事業

建築仕上塗料事業におきましては、新築需要が減少いたしました。主にリニューアル市場において超耐久性塗料や超低汚染機能で差別化された省エネタイプの遮熱塗料等の販売を行い、売上高は205億45百万円（同0.0%減）と前四半期連結累計期間に比べて8百万円の減収となりました。セグメント利益は34億22百万円（同9.7%増）と前四半期連結累計期間に比べて3億2百万円の増益となりました。

②耐火断熱材事業

耐火断熱材事業におきましては、大都市再開発地域における受注の拡大により、売上高は12億80百万円（同38.2%増）と前四半期連結累計期間に比べて3億54百万円の増収となりました。セグメント利益は1億54百万円（同164.7%増）と前四半期連結累計期間に比べて96百万円の増益となりました。

③その他の事業

その他の事業におきましては、売上高は5億21百万円（同7.5%減）と前四半期連結累計期間に比べて42百万円の減収となりました。セグメント利益は74百万円（同49.7%増）と前四半期連結累計期間に比べて24百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて24億48百万円減少し、1,082億88百万円（前連結会計年度末比2.2%減）となりました。

減少した主なものは、受取手形及び売掛金10億73百万円（同5.1%減）、現金及び預金8億11百万円（同1.3%減）、流動資産の繰延税金資産3億82百万円（同52.9%減）、商品及び製品1億76百万円（同8.0%減）であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて16億77百万円減少し、194億28百万円（前連結会計年度末比7.9%減）となりました。

減少した主なものは、未払法人税等12億18百万円（同90.2%減）、賞与引当金9億66百万円（同64.4%減）、支払手形及び買掛金2億68百万円（同4.5%減）、増加した主なものは、流動負債のその他10億76百万円（同78.4%増）であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて7億70百万円減少し、888億59百万円（前連結会計年度末比0.9%減）となりました。

減少した主なものは、為替換算調整勘定7億5百万円（同37.4%減）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、計画通り推移しており、平成28年5月10日に公表しました平成29年3月期の連結業績予測(第2四半期(累計)及び通期)に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、損益に与える影響はありません。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	61,681	60,869
受取手形及び売掛金	21,252	20,179
商品及び製品	2,207	2,031
仕掛品	980	1,022
未成工事支出金	122	194
原材料及び貯蔵品	4,236	4,204
繰延税金資産	722	340
その他	441	552
貸倒引当金	△17	△19
流動資産合計	91,627	89,375
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,821	4,689
機械装置及び運搬具(純額)	940	878
土地	8,376	8,361
建設仮勘定	46	50
その他(純額)	97	90
有形固定資産合計	14,281	14,071
無形固定資産	1,140	1,092
投資その他の資産		
投資有価証券	11	10
繰延税金資産	263	258
退職給付に係る資産	489	508
その他	3,079	3,120
貸倒引当金	△156	△148
投資その他の資産合計	3,687	3,750
固定資産合計	19,109	18,913
資産合計	110,737	108,288

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,933	5,665
短期借入金	3,030	3,030
未払金	5,494	5,245
未払法人税等	1,350	132
賞与引当金	1,500	533
役員賞与引当金	87	21
製品保証引当金	40	41
その他	1,372	2,449
流動負債合計	18,809	17,118
固定負債		
繰延税金負債	37	36
役員退職慰労引当金	1,079	1,086
退職給付に係る負債	74	77
その他	1,105	1,109
固定負債合計	2,296	2,309
負債合計	21,106	19,428
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,662	2,662
資本剰余金	3,137	3,137
利益剰余金	91,241	91,196
自己株式	△9,205	△9,232
株主資本合計	87,835	87,763
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	△0
為替換算調整勘定	1,886	1,180
退職給付に係る調整累計額	△91	△84
その他の包括利益累計額合計	1,795	1,096
純資産合計	89,630	88,859
負債純資産合計	110,737	108,288

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	22,043	22,347
売上原価	15,410	15,204
売上総利益	6,633	7,143
販売費及び一般管理費	4,022	4,024
営業利益	2,610	3,118
営業外収益		
受取利息	64	51
受取配当金	0	0
仕入割引	18	17
為替差益	359	—
雑収入	16	30
営業外収益合計	459	100
営業外費用		
支払利息	2	9
売上割引	0	0
為替差損	—	1,933
雑損失	2	5
営業外費用合計	5	1,948
経常利益	3,063	1,270
税金等調整前四半期純利益	3,063	1,270
法人税、住民税及び事業税	574	52
法人税等調整額	448	384
法人税等合計	1,022	436
四半期純利益	2,041	833
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,041	833

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	2,041	833
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△0
為替換算調整勘定	△145	△705
退職給付に係る調整額	1	7
その他の包括利益合計	△143	△699
四半期包括利益	1,897	134
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,897	134
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建築仕上 塗材	耐火 断熱材	計				
売上高							
外部顧客への売上高	20,553	926	21,479	564	22,043	—	22,043
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	0	0	△0	—
計	20,553	926	21,479	564	22,044	△0	22,043
セグメント利益	3,120	58	3,179	49	3,228	△618	2,610

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種化成品、洗浄剤等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△618百万円、セグメント間取引消去0百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建築仕上 塗材	耐火 断熱材	計				
売上高							
外部顧客への売上高	20,545	1,280	21,825	521	22,347	—	22,347
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	0	0	△0	—
計	20,545	1,280	21,825	522	22,348	△0	22,347
セグメント利益	3,422	154	3,577	74	3,651	△533	3,118

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種化成品、洗浄剤等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△533百万円、セグメント間取引消去0百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。